



にこにこ組

①身体的発達と自己との関わり

保育者に見守られ、簡単な身の周りのことを自分でやってみようとしたり、基本的生活習慣が身についていく。

開けられないよー!
開けてくれる??



僕には、
できないよー



冬になると、衣服の着脱であったり、戸外で身体を動かして暑い!と子どもたちから主張してくれます!年度初めの時とは違い、言葉の語彙も増えて、自分がこうしたいという事を、先生たちに言葉で表現してくれています。戸外にでると、尿意を伝えて、伝達してくれています。秋から、始まったセミバイキング!最初はお盆から、ご飯のいっぱいちょっと、おかず、汁とスモールステップで進んできました戸始めの頃は、とてもバランスが難しく、お盆の上でお茶をこぼして、自信を無くしてしまい、「やりたくない」という気持ちになったり、保育者と一緒に持たないと嫌だ一となったりと、気持ちの面がグラグラしてしまうという事がありました。保育者に支えてもらいながら、積み重ねていくことで、自信がついてきました戸進級にあたって、配膳する場所が変わったりと、環境の変化がありますが、今では、たくましい姿を見せてくれます!

あ! そうだ! 先生にやっても
らえばいいんじゃない??



いっぱい! ちょっと!
わらすさんでも上手にできます!

